

平成30年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

刑事訴訟法

以下の設問に答えよ。

設問1 捜査段階における不当な身体拘束から被疑者を救済するための手続として、刑事訴訟法上どのようなものがあるか説明せよ。(50%)

設問2 従来の日本の刑事訴訟法のひとつの特徴として「調書裁判」といわれてきたが、そのように呼ばれてきた理由について説明した上で、「調書裁判」を克服するために、具体的にどのような取組が行われてきたか、残された課題は何かを論ぜよ。(50%)